

## 6年生 いじめ問題学習会

6月8日（水）3時間目に、『こども六法』著者の山崎聡一郎先生をお招きし、「いじめ問題学習会」を行いました。

誰もが「いじめは悪いこと」と分かっているのに、なくなる。それはどうしてなのか？いじめ被害者の経験といじめ加害者の経験の両方をお持ちの山崎先生のお話は、説得力がありました。いじめは「人間関係のあるところに必ず起きてしまうエラー」という説明に対して、ある児童は「人間関係をなくすことはできないから、自分がしていることがいじめになっていないか立ち止まって考えたい」と考えていました。

相手が楽しそうに見えていても、心の中では嫌だと思っていて実はいじめになっていた…というのはよくあることです。いじめの加害者になっていることに気付かないまま、いじめを続けてしまっていることが多いことを聞き、子供たちは今一度自分の人間関係を見直していました。

また、怒鳴る、パワハラ、セクハラ等、大人の世界にもいじめがあると聞き、子供たちは驚いていました。子供たちは、今日お話を聞いて考えたことを、ずっと頭の中に入れて、楽しい毎日が過ごせるよう努力していってほしいと思います。

